



ききょう便り

平成22年 夏号(第22号)



(夏祭り 職員によるソーラン節)

「思いやりある仕事を」

理事 金井 敬司

我が施設「ききょうの里」は、この地域の中では伝統と実績のある存在として既に知られており、貴重な存在となっていることを誇りに思っています。

利用者の方々が、これまでの長い生活の中で、様々なご苦勞を重ねてこられたことに思いを致すとき、もう一つ新たな意識に立ち帰って「思いやりある仕事を」ということを再確認し、実践する気持ちを持つことが大切だと思います。

日々の変化の中で、実務に当たっておられる介護職員の皆様のご苦勞に感謝しつつも、なおこのように思うのは、日頃、見聞きする他の介護福祉施設における諸問題を踏まえれば、更なる努力が求められている、と感じるからです。

利用者の方々は、老いの不自由さに耐えておられる訳でありますから、平常の判断に乏しい立場に立っての思いやりのある言動が、何にも増して求められます。介護職員の言動は大切であり、全て見られていることでもありますから、日々の仕事に臨む姿勢が熱心であれば、必ずや遅かれ早かれ結果に出てくる、ということだと思います。

利用者の方々に、もっと元気になっていただきたい、もっと幸せを感じていただきたい、という目標を達成するために、悩み、実践する、そこに仕事のし甲斐や達成感を覚え、大変な仕事の中にあっても、職員個々の生き甲斐に通じていくのだと思います。

求めることには差異もあるでしょうが、「良い介護」と「良き職場」そして「良い人」という環境を、みんなで創っていただきたいと願う関係者の一人として、猛暑の時節、介護職員のご自愛を念じつつ、一筆、提言と致します。



社会福祉法人 桔梗会

特別養護老人ホームききょうの里
ききょうの里短期入所生活介護事業所
ききょうデイサービスセンター
ききょうの里居宅介護支援事業所
沼田市在宅介護支援センターききょう

ききょうデイサービスセンター岡谷
ききょうヘルパーステーション

〒 378-0002

群馬県沼田市横塚町 957 番地 2

TEL 0278 - 23 - 8831

FAX 0278 - 23 - 8832

〒 378-0061

群馬県沼田市岡谷町 687 番地

TEL 0278 - 23 - 8861

FAX 0278 - 23 - 8852

フォトアルバム(行事紹介)



うどん作り
力仕事は任せとけ!

漬けもの作り
お昼にみんなで美味
しく食べました。



外食行事
いっぱい食べて大満足。

外食行事
久しぶりの外食は
美味しいです♪



新緑ドライブ
みんな揃って「はいチーズ」



新緑ドライブ
池のアヒルもお出迎えです。



母の日は色どりの
カーネーションに
囲まれてにっこりと。

♪ 慰問紹介 ♪



岡谷町 八木節保存会

KOSEI & RYU



ロセラニ・フロッサム

智和美会



◆◆ききょうの里夏祭り◆◆



色とりどりのヨーヨー
「そこそこ! 頑張って」



らくがきせんべい
キレイに書けるかな。



冷たいジュースは
いかがですか?



チョコバナナ
美味しいですよ!



利用者様も
笑顔で模擬店に
参加されました。



くじ引きは毎年大盛況
今年は何が当たるかな?

デイサービスセンターでは、個別レクリエーションも積極的に取り入れ、希望される利用者様と季節に応じた飾り物作りや、手まりや絵手紙などさまざまな作品を作ってきました。しかし今までは、女性向けの個別レクリエーションが多く、男性向けの個別レクリエーションを考え実施していく事が一つの課題でもありました。

そこで本年度は、男性向けの個別レクリエーションとして『陶芸』を実施していく事にしました。職員は利用者様に教えるため、3月から陶芸の知識と技術を持つ松井理事長に基礎を教わっています。最初は型を使った“箸置き”や“皿”から始まり、団子状の粘土に指を入れて形を作る“ぐい飲み”や、手動のろくろを使い紐状に伸ばした粘土を重ねて作る“湯飲み”や“マグカップ”も指導を受けながらなんとか作れるまでになりました。

6月からは利用者様の小皿作りも始まり、既に数人の男性利用者様は小皿を完成させています。作り始める前は「出来ないよ。」と言っていた利用者様も、いざ参加すると集中して、一生懸命作る姿が見られました。そして、完成後の笑顔と満足した表情はすべての利用者様に共通して見られました。

毎年秋に個別レクリエーションや行事を通して作った作品を、地域や家族の皆様に見てもらうために作品展を開催していますが、今年は陶芸作品も展示する予定です。今まで、展示機会がほとんど無かった男性利用者様も、陶芸作品を通して作品展に参加していくことで、今後の作成意欲がさらに増すのではないかと考えております。そして、それがデイサービスに来る一つの楽しみとなってもらえるように、職員もこれから頑張っていきたいと思っております。

(ききょうデイサービスセンター)



先日、ヘルパー協議会研修会に参加し、同志社大学教授の上野谷氏の講演「たすけ上手・たすけられ上手なヘルパーに」を聴いてきました。

上野谷氏は長年、社会福祉研究・教育者として過ごされてきました。「あなたはたすけられ上手ですか？たすけ上手ですか？」という問いから始まり、「センセイ」と称される人々の中には仕事柄、他者を助ける事が多いため、助けられる事が得意ではない人が多く、いざ自分が助けられる状況になると、どうも素直に自分の弱さを認められないそうです。素直にたすけられ上手の仲間を作り、そのマナーと仕組みを作ろうと、地域支援の理解と方法を話されました。

豊かな社会とは、時には人を助け、時には人に助けられという関係を生活という分脈の中で紡ぎ、その結果、人と人との繋がりがしっかりと出来ている社会のことを言い、ボランティアや様々な市民活動等、市民が活発に地域社会を創ることこそ、地域社会の実践であり理念そのものです。

上野谷氏のモットーは「清く、正しく、美しく、そして朗らかに」だそうです。私達ヘルパーもその精神で、誰もが、尊厳ある地域自立生活を送ることができるよう支えるヘルパーとしてみんなで頑張っていきたいと思っております。

(ヘルパーステーション)

去る7月20～21日、「沼田市一人暮らしふれあい会食会」が行われ、当支援センターの担当地区である沼田中学校地区と池田中学校地区は、21日に参加して来ました。

沼田市ふれあい福祉センターに一人暮らしの方が集まり食事をし、午後からはハワイアンを聴いたり、みんな楽しそうに過ごされていました。お昼に一緒にお弁当を食べた方から、「やっぱりみんなで食べると美味しいね。」というお話を聞き、今まで感じたことはなかったのですが、普段は一人で食事をしているので話し相手はもちろん、「美味しいね」とかそういった会話もないんだなと思いました。一人暮らしであるという現状を変えることは出来ませんが、このような催し等から、顔見知りの人を作り会話をしたりして、地域の交流が広がるといいなと思いました。

そして、私も相談員として、少しでも地域のお役に立てるように、より一層努力していきたいと思っております。

◎介護の悩みや福祉サービス利用等の相談、介護保険利用手続きの申請代行、一人暮らしや、これからの生活に不安がある人などの相談は、

在宅介護支援センターききょう
TEL 23-8816 (金子)

ホットな話題

毎年恒例の「ききょうの里夏祭り」が、7月18日に横塚祭りと共催で行われました。

当日は猛暑日となり、かき氷やジュースを求める方が多くいました。クジ引きに必要な“スタンプ集め”を今年は3箇所を設定して、例年以上に子供達と利用者様とがふれあう場を設けましたが、子供達との会話に利用者様は終始にこやかに対応されていました。

暑いなかお越し頂きました地元横塚町やご家族の皆様、大変ありがとうございました。(総務)

職員紹介

この職に就いて

ききょうの里に就職してからあっという間に時間が経ち、もうすぐ2年になります。

ききょうの里に就職する前は、別の特養で4年半ほど働いていました。

ききょうの里ではユニット型大地グループの職員として働き始めましたが、就職したての頃は、以前働いていた従来型の対応の仕方との違いに、戸惑いを感じる事が多くありました。しかし、一緒に働いている職員の皆さんに助けて頂きながら、今では楽しく仕事ができるようになりました。

また、今年の4月からはユニット型大空グループへ異動となり、「同じユニットでもそれぞれのユニットごとに個性があり、対応の仕方も違うんだなあ。」と実感しています。

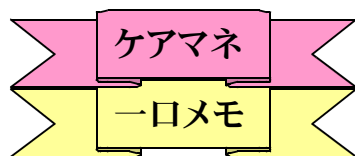
この仕事にやりがいや楽しさを感じますが、仕事が嫌になる事も時々あります。しかし、利用者様の笑顔や日々の感謝の言葉を聞くと、「ここで働けて幸せだなあ、この仕事を選んで良かったなあ。」と再認識する事ができます。

また、一緒に働いている職員の言葉にも支えられる事が多く、落ち込んでいる時は優しい言葉をかけてくれ、楽しい事があると一緒に笑い、元気をもらうことが出来ます。

私も利用者様が笑顔で元気に生活していけるよう、一人ひとりにあったケアを心掛けて日々努力していきたいです。これからも宜しくお願いします。



介護職員
阿部由梨奈



『小銭持ち』…の巻

「世に小金持ちは多けれど大金持ちの少なきこと仁者の少なきと同じ」と龍馬さんが言ったとか言わないとか…。

在宅訪問をしていますと電話機の横なんかにはビスケットの空き缶なんぞがよくあります。たいていはレシートとか公共料金の領収書などを、取りあえず入れておく保存場所の場合が多いですよ。

ところが、ザックザックと小銭が山のようにあつたらご用心！「始まりの始まり」か場合によっては相当きているのかもしれない。…認知症の。

俊子さん（仮名）の場合は、ふれあいセンターに行くのにいつも千円札を持って行きます。帰って来るとおつりを缶の中にガラガラッ。新聞屋さんの集金も料金を聞く前に一万円札。お札は財布にしまつて、小銭はガラガラッ。

本人に聞くと「面倒臭くってさっ、貯まっちゃうんだよね。」

本当は計算がちょっぴり弱くなってきているのかも。「小銭持ち」は早期発見の目印のひとつになるかもしれません。



☆☆今後の予定☆☆

☆ききょうデイサービスセンター

- 8月 夏祭り(3.4.5日)
- 9月 敬老誕生会(中旬)
ぶどう狩り(下旬)
- 10月 大運動会(中旬)



☆ききょうの里(従来型) ☆ユニット型

- 8月 花火大会(25日)
- 9月 敬老家族食事会(19日)
ぶどう狩り(下旬)
- 10月 りんご狩り(上旬)

☆ききょうデイサービスセンター岡谷

- 8月 納涼夏祭り(中旬)
- 9月 ぶどう狩り(下旬)
- 10月 稲刈り(上旬)
屋内ミニ運動会(中旬)



◇◇編集後記◇◇

今年の夏は殊の外猛暑となり、ニュースでは連日熱中症の話題を取り上げていますが皆様は如何でしょうか？

先日は猛暑の中での「ききょうの里夏祭り」でしたが、訪れた子供達に、暑さも吹き飛ばすほどの沢山の元気と笑顔を与えてもらいました。

花火、海水浴、スイカ割り、夏の風物詩はたくさんありますが、暑さに負けず夏しか出来ない事を楽しみたいと思います。

